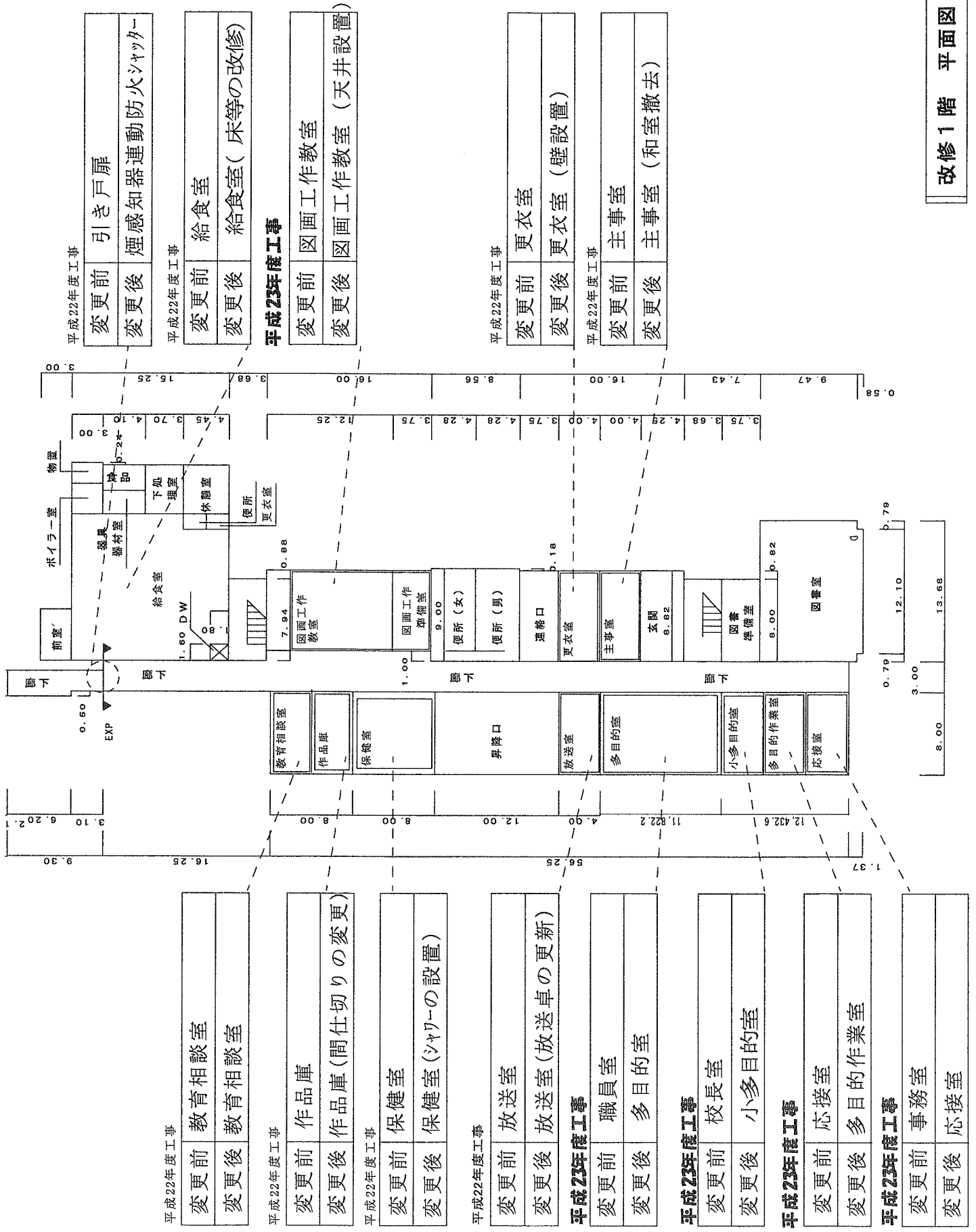


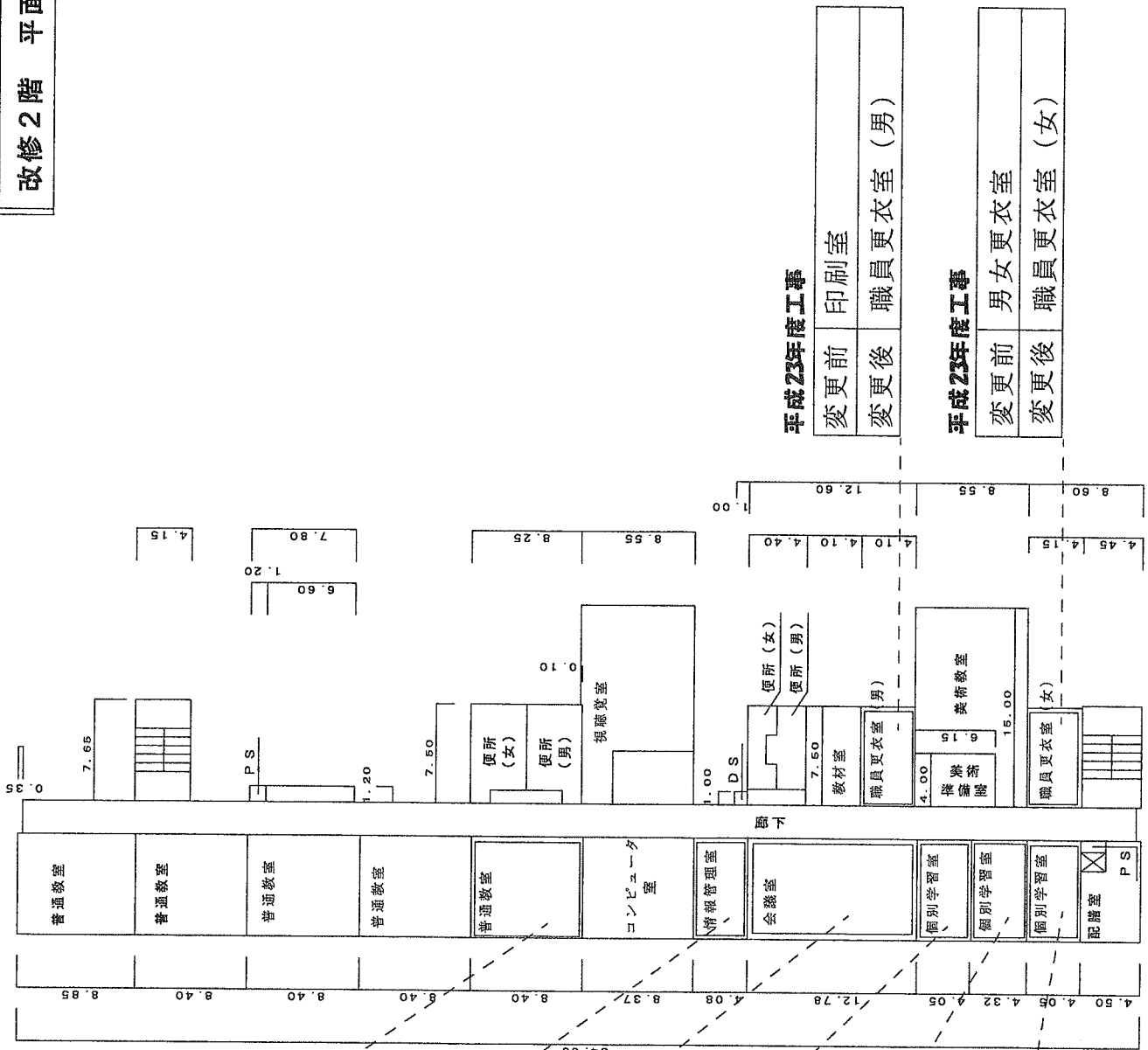
《 資 料 編 》



改修1階 平面図

改修2階平面図

①



平成23年度工事

変更前	進路指導室
変更後	普通教室

平成23年春休施工事

変更前	放送室
変更後	情報管理室

平成23年度工事

変更前	職員室
変更後	会議室

平成23年度工事

変更前	校長室
変更後	個別学習室

平成23年度工事

変更前	応接室
変更後	個別学習室

平成23年度工事

変更前	事務室
変更後	個別学習室

平成23年度工事

変更前	印刷室
変更後	職員更衣室(男)

平成23年度工事

変更前	男女更衣室
変更後	職員更衣室(女)

◎練馬区立小中一貫教育校推進委員会 検討経過

	開催期日	検討内容等
第1回	平成21年5月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の委嘱 ・教育長挨拶 ・委員長、副委員長の選出 ・小中一貫教育校推進委員会の設置目的、運営方法 ・計画の概要 ・学校の概要 ・小中一貫教育資料作成委員会の設置 ・視察の案内 ・検討スケジュール等
第2回	平成21年6月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区小中一貫教育校興本扇学園を視察
第3回	平成21年7月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察について ・小中一貫教育資料作成委員会の経過報告 ・施設整備の検討
第4回	平成21年8月31日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の検討 ・就学の特例の検討
第5回	平成21年10月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育資料作成委員会の経過報告 ・学校経営等 ・学校生活（標準服）
第6回	平成21年11月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の速報 ・学校生活（標準服）
第7回	平成21年12月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果の報告 ・統一校名・統一校章・統一校歌について ・小中一貫教育資料作成委員会の経過報告 ・小中連携教育について ・大泉学園桜小学校・大泉学園桜中学校の周年行事等の取扱い
第8回	平成22年1月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の報告 ・小中一貫教育校実施計画中間報告（案）の検討
第9回	平成22年2月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校実施計画の中間報告 ・小中一貫教育資料作成委員会の中間報告 ・平成22年度検討スケジュール

第1回推進委員会

日時：5月14日 14:00～16:05

場所：大泉学園桜中学校

■概要

菌部教育長から推進委員会の各委員に委嘱状を交付し、併せて委員長、副委員長の選出を行った。その後、小中一貫教育校の計画の概要、学校の紹介、練馬区小中一貫教育資料作成委員会の設置などについて話し合いを行った。

■【推進委員会の設置目的】

推進委員会では、小中一貫教育校の開校までの2年間、教育内容、学校経営、施設整備、就学、統一校名（通称名）、統一校歌、統一校章、学校行事などについて検討する。

■【菌部教育長あいさつ】

教育委員会では、平成15年に「21世紀の練馬の教育を考える懇談会」から小中連携教育および小中一貫教育の必要性について答申をいただいた後、小中一貫教育校の在り方について協議いたしました。そして、小中一貫教育校の基本方針を検討するために設置した第一次推進委員会において、保護者の方々からご意見を頂戴し、一定の考え方を整理していただきました。

その後、教育委員会において小中一貫教育校の必要性等を検討し、小中一貫教育を進めていくという結論に至りました。この度、大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校を対象校とし、大泉学園桜中学校と通学区域が一部重なる大泉学園緑小学校を関連校と位置付け、各学校の保護者、地域の方々のご協力を得て、当推進委員会を発足させることができました。感謝申し上げます。

推進委員会における検討の成果は、大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校による一貫教育校だけでなく、すべての練馬区立小中学校の連携教育にも生かしてまいります。この小中一貫教育校が良い形で発足することが、練馬区立学校全体の教育内容の向上につながると考えておりますので、よろしくご協議をお願いいたします。

■【推進委員会の運営方法】

- ・原則として、大泉学園桜中学校を会場として開催する。
- ・原則として、推進委員会の会議は傍聴を可とし、要点記録を公開する。
- ・おおむね、推進委員会の開催ごとに、「小中一貫教育校だより」を発行し、保護者、地域、区民の皆様にお知らせする。
- ・“新しい学校づくり担当課”のホームページに随時、推進委員会の開催予定、「小中一貫教育校だより」、会議の要点記録を掲載する。
- ・その他、特に定めがない事項や疑義が生じた場合は、その都度、推進委員会で協議して定める。

■【小中一貫教育資料作成委員会の設置】

推進委員会において、小中一貫した教育課程を編成する際の基となる資料を作成するため、推進委員会の下にアドバイザー、校長、教員などで構成する「練馬区小中一貫教育資料作成委員会」を設置することが承認された。

第2回推進委員会

日時：6月24日 9：30～11：50

場所：興本扇学園

■概要

練馬区立小中一貫教育校実施計画の策定に資するため、平成18年度に開校した足立区の小中一貫教育校興本扇学園の視察を行った。

■【興本扇学園の視察について】

推進委員会では、平成23年4月の練馬区立小中一貫教育校の開校を目指して、実施計画を検討している。実施計画の策定にあたり参考とするため、足立区の小中一貫教育校「興本扇学園（足立区扇3丁目）」の視察を行った。同学園の校長、副校長、PTA役員、足立区教育委員会の教育改革推進課長と意見交換を行った。

■【興本扇学園の概要】

- ・平成16年「小中一貫教育推進委員会」を設立、平成18年4月に開校。開校後、2年間は仕組み作りが中心で、3年目以降は教育内容の充実に取り組んだ。
- ・既存の足立区立興本小学校と足立区立扇中学校の校舎を使用し、2つの校舎を「学園通り」で結んで、小中学校間を行き来できるようにした施設分離型の形態をとっている。
- ・Ⅰ期（1～4年）Ⅱ期（5～7年）Ⅲ期（8・9年）に分け、児童・生徒の発達段階に応じて「学びの基本姿勢」「意欲的な学習姿勢」「主体的な学習姿勢」を身に付けることを目標としている。小学校3年生以上では、新たな教科として「国際コミュニケーション科」を設け、「英語学習・国際理解学習・キャリア学習」を柱に「生きる力」を育成している。
- ・今年度の重点目標は、以下の3つである。
 - ① 子供にとって分かる授業
 - ② 子供にとって充実した楽しい学校生活
 - ③ 家庭や地域との連携
- ・東校舎（興本小学校）で小学校1～4年生が、西校舎（扇中学校）で小学校5・6年生と中学校1～3年生が学び、学校行事に応じてそれぞれの校舎を行き来し、9学年相互の交流を図っている。また、PTA、町会、自治会、学校が一体となった「開かれた学校づくり協議会」を設置し、学校中心の運営方法から地域全体が学校をサポートする応援体制を取り入れて、小1から中3までの時間的な一貫（縦の一貫）と地域全体の空間的な一貫（横の一貫）がうまく重なり、小中一貫教育が強固なものになっている。

■【小中一貫教育校「興本扇学園」のこれまでの成果と課題】

成果として、中1ギャップといわれる問題の改善、小・中学校教員の子供に関する情報共有、プール・体育館が2つあり、割当ての融通がきくことなどが挙げられた。また、課題としては9年間を見通した指導の在り方や教室の配置などが挙げられた。